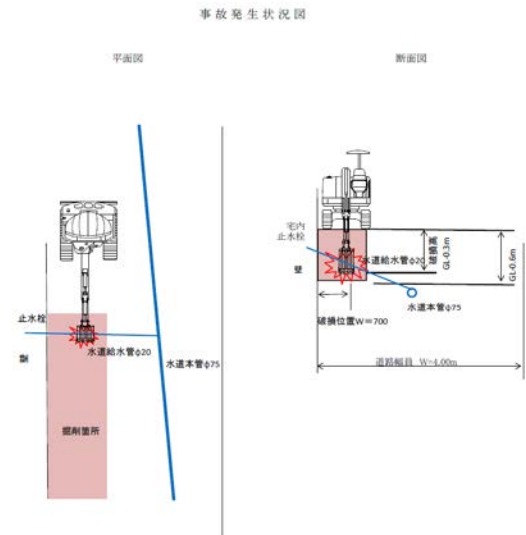


# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 7月 1日(水曜日) 15時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道給水管(φ20mm)の破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	護岸工事						
事故概要	バックホウにて、側溝設置のための床掘り中に、水道給水管(φ20mm)を破損させた。						
事故原因	工事着手前に埋設物の図面を取得し確認していたが、掘削前に現地の給水管が埋設されている位置を把握しておらず、また、宅内の止水栓も見当たらなかったことから、給水管の埋設を想定せずに掘削したため。						
改善策	事前にマーキングや埋設物周辺の人材掘削の実施、作業員全員への周知を徹底させるため、総括監督員及び監督員立会のもと、社内(安全)研修を実施した。						

## 事故状況図



## 改善状況図

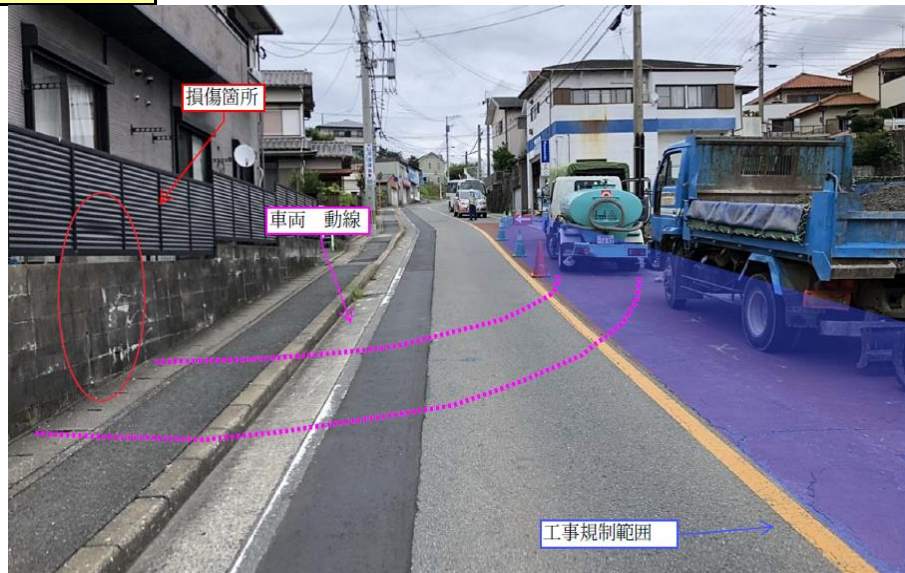


社内(安全)研修を実施。

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年7月15日(水曜日)15時40分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	-	業種区分	土木
被災程度	アパートの外柵を破損			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	現場に駐車させた散水車(2t)が滑動し、アパートの外柵を破損させたもの。						
事故原因	資材置き場から帰ってきた運転手が、車を離れる際にエンジンを切らずにニュートラルのまま、タイヤ止めをせずに車を離れたため、散水車が滑動しアパートの外柵を破損させたもの。						
改善策	安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。 車を駐車する際は、きちんとエンジンを切り、坂道だけではなく、平地でも確実にタイヤ止めの設置を行い、作業を進めることを厳守することで再発防止に努める。						

## 事故状況図



## 改善状況図



再発防止に向けた安全訓練を実施

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和2年7月18日(土曜日)15時20分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	墜落・転落	性別	男性	年齢	40	業種区分	土木
被災程度	右手指切創	事故レベル	II			休業見込日数	21日
工事概要	公園の生垣の剪定						
事故概要	公園入口から見て右奥にある高さ2.4mの生垣の剪定にあたり、3段の脚立に乗り、ゴム手袋を着用した上でトリマーを使用して、胸の高さあたりの生垣の天端部分の枝を切除していたところ、生垣の中にハチの巣があり、ハチが襲ってきた。ハチを避けようとして体勢を崩したため、脚立から転落し、その際、持っていたトリマーが体の方へ向かってきたため体を庇うように右手を出したところ、トリマーの刃がゴム手袋を貫通し、右手が接触し被災した。この際、手を放してもエンジンが止まらない仕様のトリマーを使用していた。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業前に、ハチの巣の有無など、現場の状況確認を十分に出来ていなかったこと。</li> <li>・作業内容に適した保護具(安全グローブ)を着用していなかったこと。</li> <li>・手を放すとエンジンが止まる安全機能が付いたトリマーを使用していなかったこと。</li> </ul>						
改善策	下請業者に対して、事故再発防止のためのミーティングを行い、下記の事項を確認した。 ①作業前の現場確認(ハチの巣・ごみ・障害物の有無) ②保護具の着用の徹底(安全グローブ・フェイスシールド等) ③安全機能の付いた作業機械の使用(トリマー) ④業者からの報告が遅かったため、緊急時の連絡体制の確認						

## 事故状況図



事故発生時の状況

## 改善状況図



事故再発防止のためのミーティング

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 7月18日(土曜日) 10時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	自動車等	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	車両右サイドガラス全面にヒビ			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	市有施設等除草業務						
事故概要	刈払い機による除草作業中に小石がはね、通行中の車両にあたり、運転席側のガラスを損傷した。						
事故原因	防護ネットを使用せずに作業を行ったことによる。						
改善策	防護ネットを使用する箇所について再確認を実施。また車両等の通行確認をするための監視者を設置。						

## 事故状況図



## 改善状況図

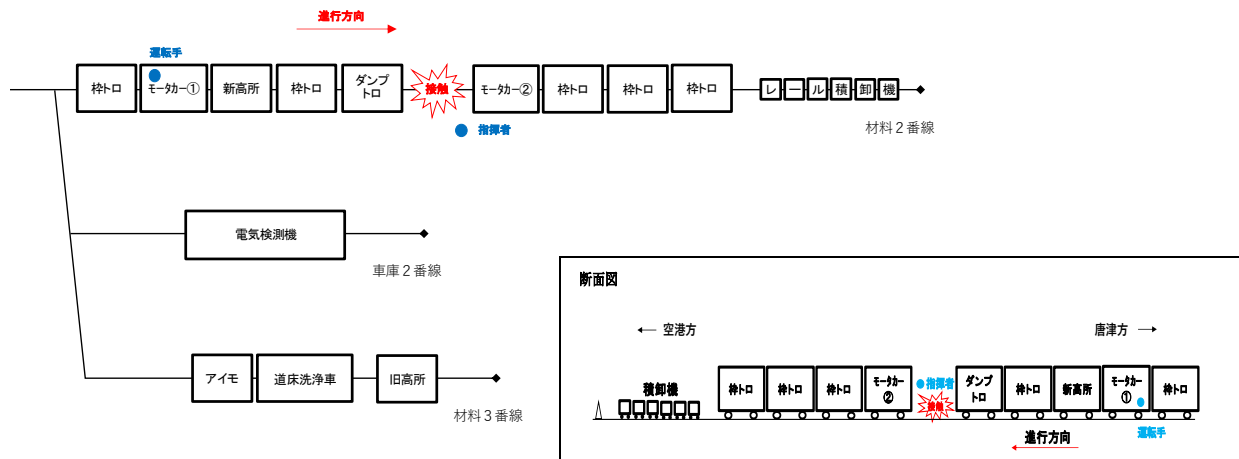


防護ネット使用

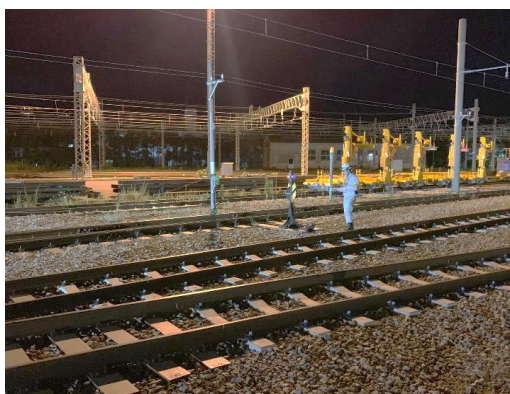
# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年7月18日(土曜日) 4時20分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	建設機械等	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	機械破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	土木構造物の改修工事						
事故概要	作業終了後、モーター①にトロリ(作業車及び台車)を前方3台、後方1台連結して車庫に格納するため前進させていた時、最前部のダンプトロと車庫に留置していたモーター②が接触し、モーター等を破損させたもの。						
事故原因	合図灯で指示するべきところを、無線に頼りきって作業していたため、合図に気づかず接触したものの。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線は手信号合図の補助として使用することを徹底し、運転手が指揮者の手信号合図を確認できない場合は、走行を停止する。</li> <li>合図が確認できない場合は、確認できる編成になるまでトロ等は、手押しで移動させる。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図



手信号合図をしている状況

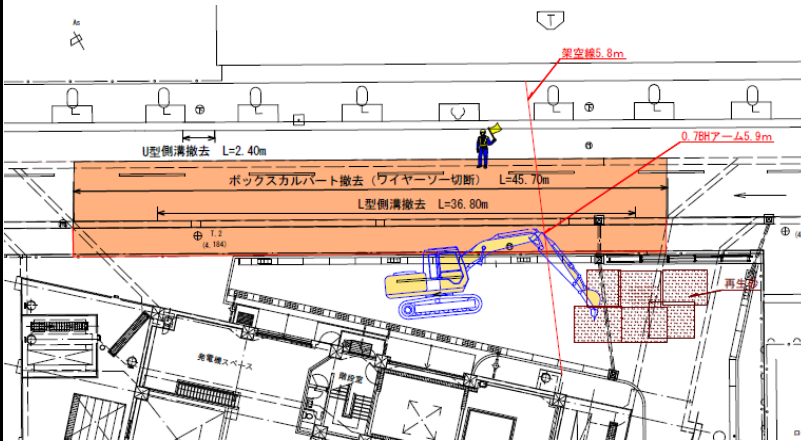


合図が確認できない為、手押し移動している状況

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 7月 18日(土曜日) 16時 20分			工事関係者区分	元請け
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	架空線破損	事故レベル	I		休業見込日数	—	
工事概要	ポンプ場場内整備工事						
事故概要	バックホウの旋回時に、アームがNTT架空線に接触し、破損したものを。						
事故原因	バックホウのオペレーターが架空線の存在を失念して、アームを上げたまま架空線の下で旋回したため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意啓発看板等については、大型化、明瞭化したものを使用して、一時撤去等の措置を取らない。</li> <li>・架空線下での重機作業については、機能的に架空線との接触が無い機械に限定して使用する。</li> </ul>						

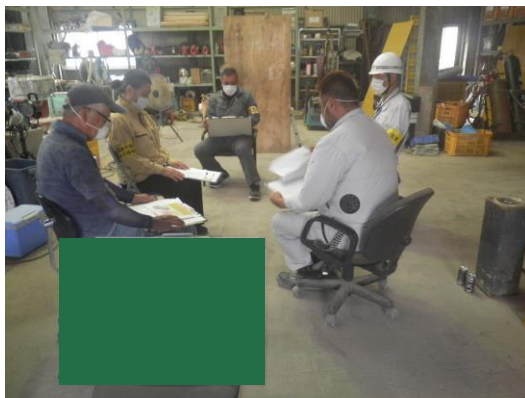
## 事故状況図



現場状況写真

1. バックホウで再生砂をボックスカルバート内に投入。
2. 作業終了後、移動のためバックホウを旋回した時アームがNTT架空線に接触し破損した。

## 改善状況図



安全訓練の実施

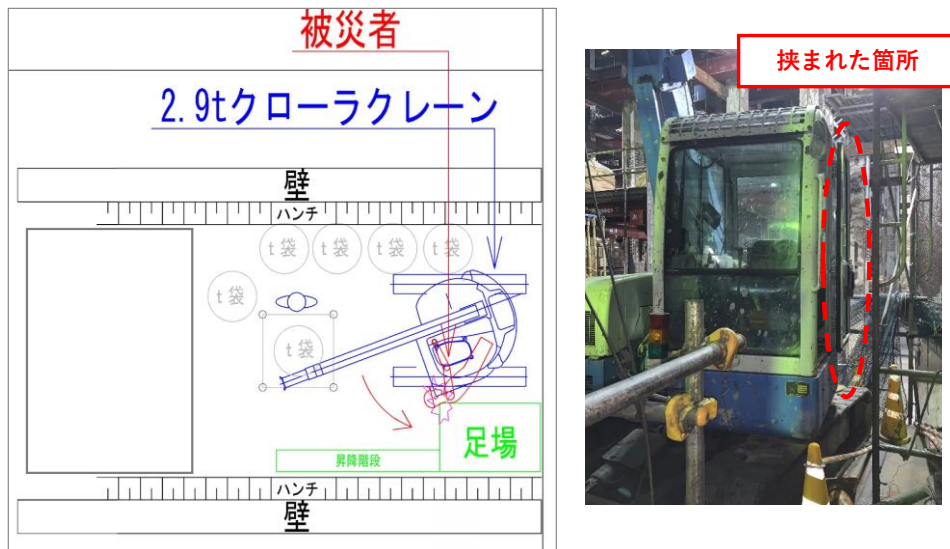


看板の大型化

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 2年 7月 22日(水曜日) 22時 00分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	51	業種区分	土木
被災程度	死亡	事故レベル	Ⅲ			休業見込日数	-
工事概要	地下鉄工事						
事故概要	被災者(クレーンオペレーター)は2.9t吊クローラクレーンを使用して掘削土(トンパック)回収作業の待機中に、操作ロックレバーを作動させずに何らかの理由で運転席から身を乗り出した状態となったところ、クレーンが左方向に旋回し、運転席のフレームと足場の間に首を挟まれたもの						
事故原因	クレーンオペレーターが操作ロックレバーを作動させずに扉の外へ身を乗り出した状態で左旋回したこと						
改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.操作ロックレバーの作動の徹底(主要因) <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業員の再教育と1回/月の繰返し教育</li> <li>・注意喚起のステッカーの設置</li> <li>・運転席離席時のエンジン停止</li> </ul> </li> <li>2.現場環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型移動式クレーン作業時の無線機の使用</li> <li>・本作業におけるクレーン作業エリア 離隔1m以上確保</li> <li>・クレーン乗車時の閉扉の徹底</li> </ul> </li> <li>3.管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規に専任の安全管理者の配置</li> </ul> </li> </ol>						

## 事故状況図



## 改善状況図

操作ロックレバーを作動させることを徹底させる。



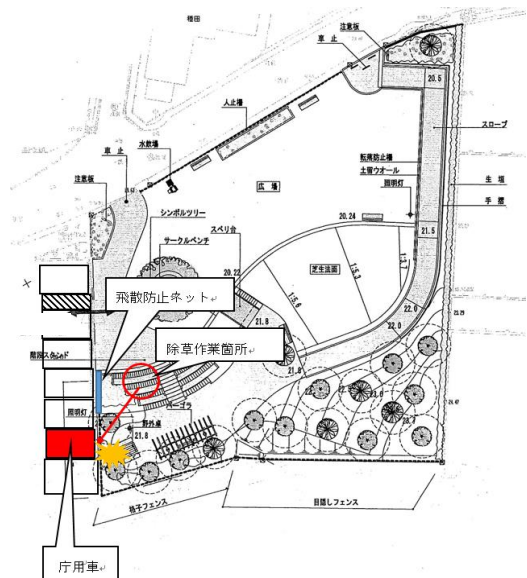
操作ロックレバーを作動させていない状態

操作ロックレバーを作動させている状態

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 7月29日(水曜日) 13時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	両・自転車等損	性別	—	年齢	—	業種区分	造園
被災程度	庁用車リアガラス破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	公園等年間管理業務						
事故概要	年間管理業者が公園を除草していた際、刈払機で小石を飛ばしてしまい、隣接する公民館に駐車していた庁用車のリアガラスを破損した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛散防止ネットを設置していたが、養生の範囲が狭かった。</li> <li>・予想外の方向へ小石が飛んだ。</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに駐車場等がある場合は、ネットとともにブルーシート等を利用して養生範囲を広くとる。</li> <li>・安全訓練にて、作業員への指導を徹底する。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図



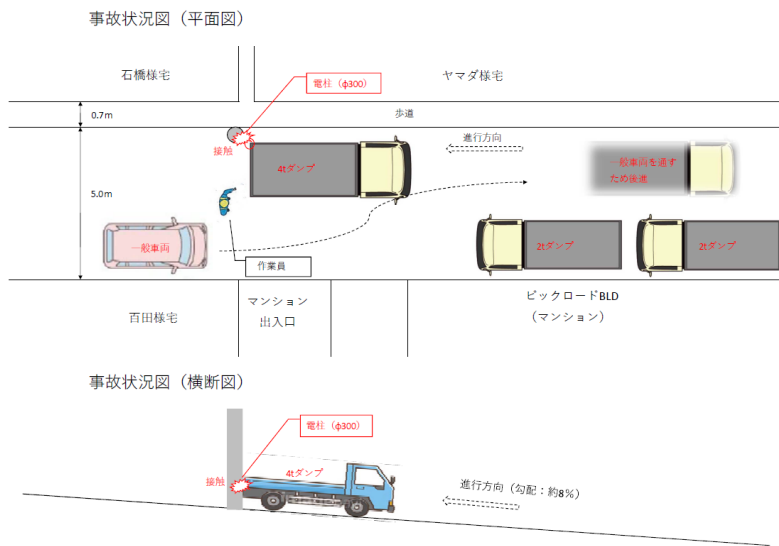
工事名	
工種	安全管理
測点	
飛び石飛散防止対策	



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年7月30日(木曜日)16時45分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	九州電力電柱を破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	交通規制範囲内に止めていた4tダンプトラック後進の際に、九州電力柱に接触し破損させたもの。						
事故原因	現場作業終了後、通行止め区間に置いていた資機材を4tダンプトラックに積み込んでいたにもかかわらず、交通規制を解除していたため、一般車両が侵入してきた。その際、2tダンプトラックと4tダンプトラックが横並びとなり一般車両の通行を妨げていたため、取り急ぎ4tダンプトラックを後進させたところ電柱に接触し破損させたもの。						
改善策	安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。 今後、同様の事故が起こらないように、交通規制の解除は、現場の片づけが終わり、作業ダンプが現場出車後に行うよう、交通誘導警備員との連携、役割分担の徹底など業者への指導を行った。						

## 事故状況図



## 改善状況図



再発防止に向けた安全訓練を実施